

花

の

色

R18







ん……

ミュール……



……?

……



もう……
重いわよ

最近気付いたこと



……何?

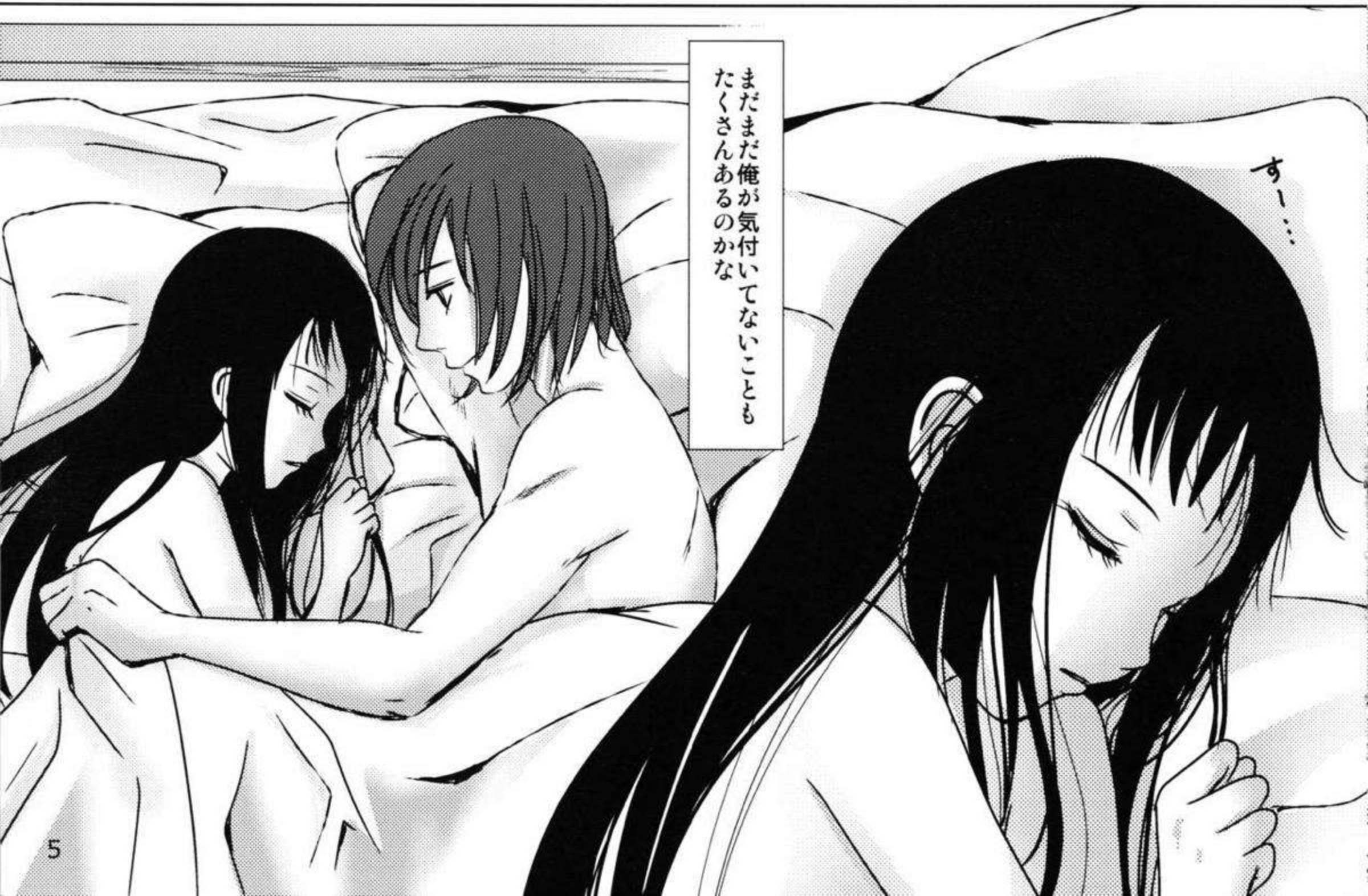
なあ
ミュール……



俺が寝てる時だけ
ミュールは頭を撫でてくれたり

稀に子守唄みたいなのを
謳ってくれる

だから時々こうやって
寝たふりをしてみたりする



まだまだ俺が気付いてないことも
たくさんあるのかな

すー…



後どれくらい

こんな風と一緒に居られるんだらう

その服可愛いですね
よく似合ってます

……いちいち着るもの
考えるのめんどくさいし
いつものポデイスーツで
行くつもりだったのに
クロアがうるさいから

女の子なんですし
おでかけの時くらい
おしやれするの
いいと思いますよ



女の子って
年でもないわよ

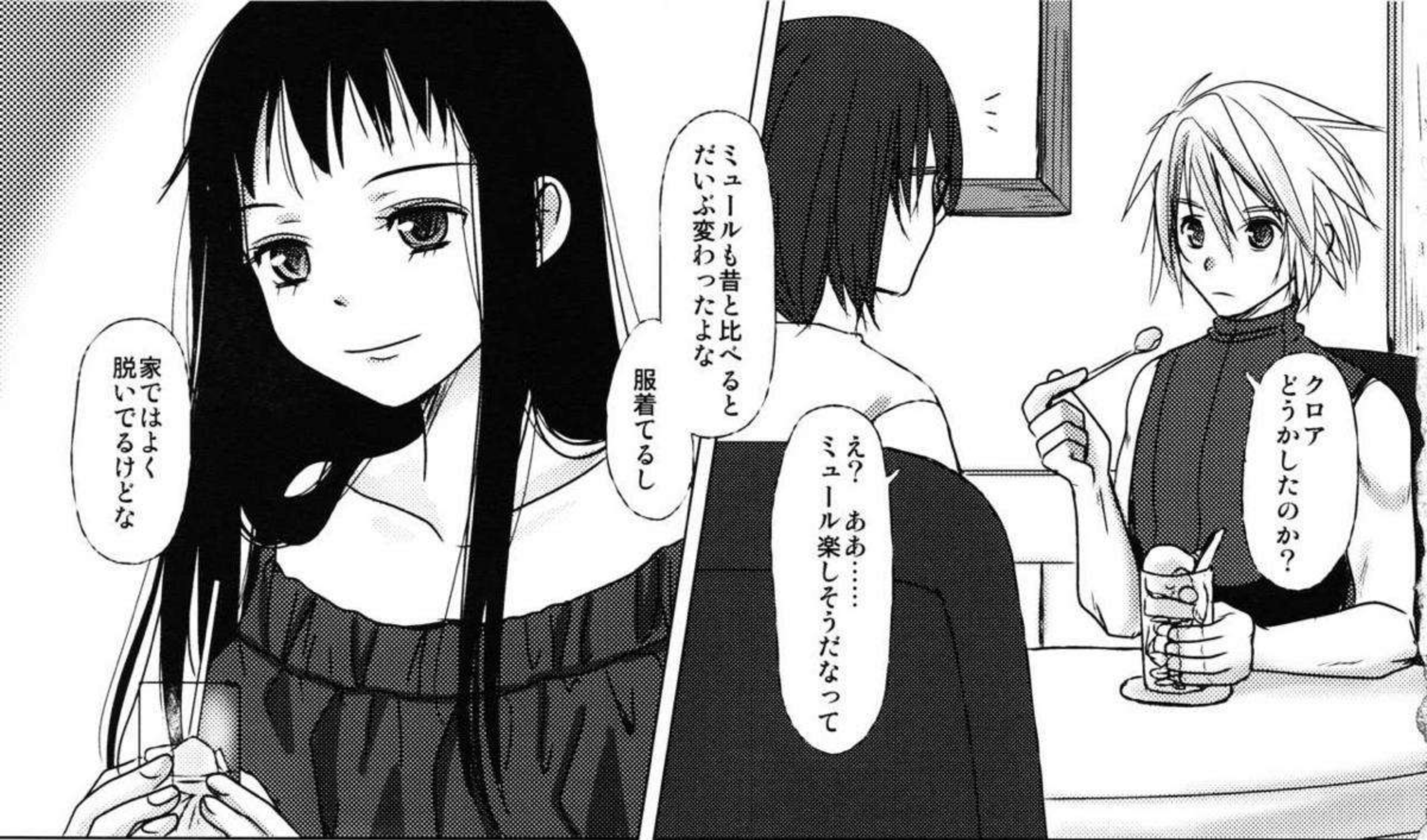
「あなたも」

何でそこ強調
するんですか！



……あの二人
相変わらず仲いいな

だな



クロア
どうかしたのか？

え？ ああ……
ミュール楽しそうだなって

服着てるし

ミュールも昔と比べると
だいぶ変わったよな

家ではよく
脱いでるけどな



そう言えばこの前
ネモの近くでライナーの
お父さん見かけたよ

珍しいな
こっちに来るなんて

あー確かシュレリア様の
用事の関係じゃないかな

シュレリアさんが
はぐれそうになってるのを
追いかけて走り回ってた
まだまだ元気だな

ん……

たまに顔合わせると
やっぱり親父も
年取ったなーって思う



仕方ないけどな

俺らだって何十年かすれば
じいさんになるんだし

ライナーはずっと
変わらない気がするよ

ははっ
だったらいいな

まーでも





これ美味しそう
買って

さつき食った
ばっかりだろ

甘いものは別腹
って言うでしょ

甘いもの食った後で
言うセリフじゃないぞ



はいお嬢ちゃん
どうぞ

ありがとう

優しいお兄ちゃんだねえ



すみませーん
これとこれください

はいはい
ありがとうございます

まったく……
仕方ないなぞ
今回だけだぞ



妹ですって
初めて言われたわ

やっぱりこの服
子どもっぽいのよ

……俺そんなに
老けて見えるかな……



おやそうなのかい
可愛らしいから
妹さんかと思ったよ

あら
私の方がお姉さんよ



目が悪くてよく見えて
ないことも多いんだし

年寄りの言う事は
適当に流しておけばいいわ



はあ……

枯れてるのは
昔からでしょ

そんな
落ち込むこと？



グ
グ
グ



それより早くミユールが
俺の必要としなくな
るかも知れないけど

……



早く帰って
おやつ食べましょ

俺たちは
同じ時間を生きられない



……いつか
親子とかさ

じいさんと孫に
間違えられる時が
来るんだらうなって

本当はずっと前からお互い分かったた

分かってても口にはしなかった

ミユールはどう思ってるのか知らないけど

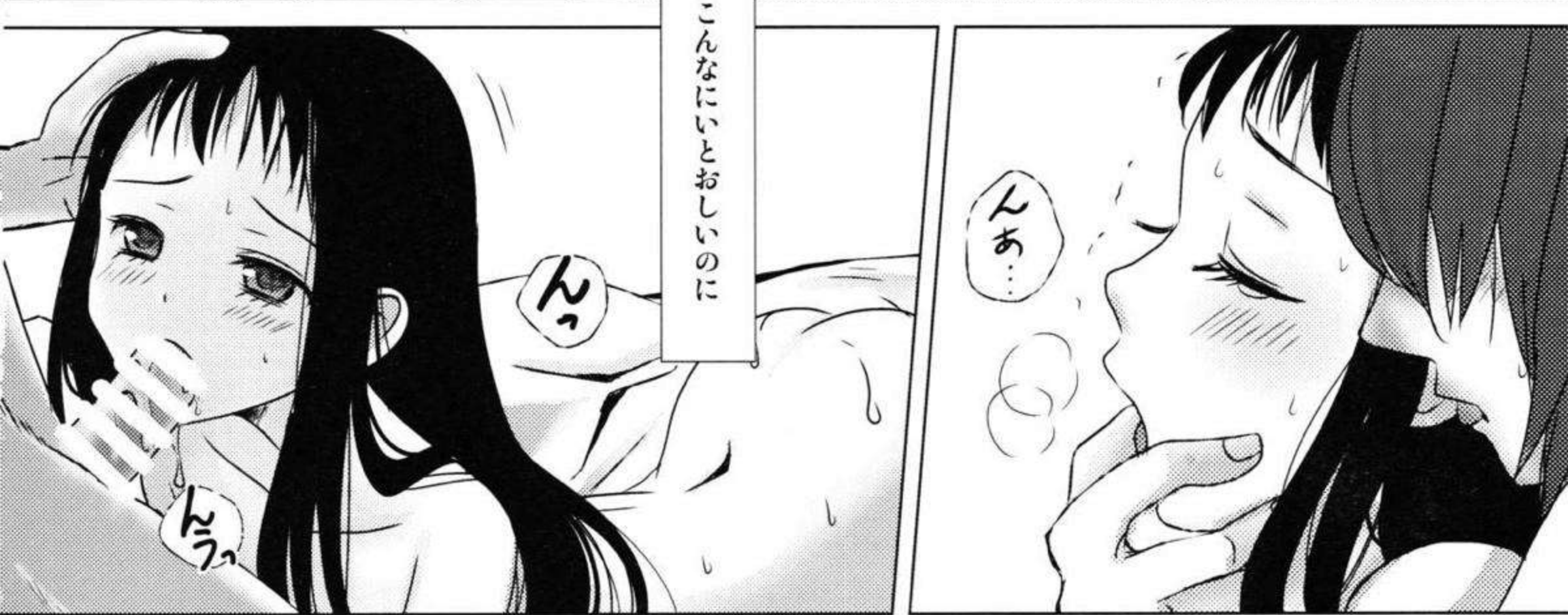


俺は



「いつか」が来るのが怖いよ







どうして「いつか」が来るんだろう





どうして誰にも分からない「その日」を
勝手に想像して悲しくなってしまうんだろう



ミュールは綺麗だな



ん...



姿かたちはずっと
変わらないまま
決められた日が来たら
突然壊れるなんて

人間は悪趣味なものを
作ったものね



本当に...
初めて会った頃と
変わらないんだな

...そういう風に
作られてるから

...何よいきなり



クロア……？

……何で……

何で……
今がずっと続かない
んだらうな……

今もあの頃と気持ちは
変わらないのに……

あの頃よりずっと
好きなのに……



明日が怖い？

……

……俺がいつかミユールの
負担になる日が来るんだと
思うと怖い

何で同じ時間を
一緒に生きていけないんだらう

仕方ないことだって
分かっても……
俺だけとどん
年を取って……

一緒に居られなくなる
日が来るんだって
思うとすごく怖い

……あなたが思ってるほど私薄情じゃないと思うわ

明日のことは分からないけど少なくとも今はあなたの存在は私の中で大きすぎるから

……俺が死んだらその時は泣いてくれるかな

どうかしら？

それはその時に
ならないと分からないわ

……うん



え？

あでも喪服なら
ちやんと持つてるから
いざと言う時も大丈夫よ





喪服みたいって
言われたの
忘れてないわよ

ああ……あの
黒いドレスの事
まだ根に持ってたのか

……あんまりくだらない
ことで悩んでると
ますます老け込むわ

それでなくても
枯れてるって
言われてるんだから

……あ



何？

……何でもない

いつか来るその日は
明日かも知れないけれど



俺が色褪せて朽ちた後も

変な人

今 腕の中にある花は
鮮やかなまま咲き続ける

それを少し悲しく思ってしまう
俺のわがままを

どうか許してほしい



花
の
色

発行 : イヌドリル。(犬森サヤカ)
発行日 : 2017年8月13日
連絡先 : inu@aoba.sakura.ne.jp
Twitter : inumori_s
web : <http://www.inudrill.com/>

印刷所 : フリーク

無断転載・本文のweb上へのアップロードなどはしないでください。

感想など頂けたら嬉しいです。



inudrill.com